



協 自 自
調 律 主

次代を担う若人

筑 西

久留米市立筑邦西中学校
学校だより 5-12号
令和5年9月28日
文責 校長 古賀 一英

中体連新人大会並びに市内音楽会の紹介

9月15日（金）6時間目に中体連新人大会並びに市内音楽会等出場についての激励会を開催しました。各部長が、新人大会等での目標を伝えました。各部長は、全校生徒前での発表にたいへん緊張している様子でしたが、一生懸命に伝えている姿が大変素敵でした。新人大会は、9月30日（土）・10月7日（土）、市内音楽会は9月29日（金）に行われます。また、水泳部は8月5日（土）北野中学校プールで、陸上部は9月13日（水）久留米陸上競技場において市内新人大会を終えました。新人大会等と合わせて地区大会出場選手を紹介します。

陸上部	<p>【入賞者】※下線は地区大会出場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>男子 200m3位</u> <u>400m3位</u> 國武稜平 ・ <u>女子 1500m3位</u> 江口柚那 7位 大久保愛美 ・ <u>女子 80mH2位</u> 寺崎心彩 ・ <u>女子 100mH3位</u> 寺崎理央 ・ <u>女子 1年 800m3位</u> 藤本夏帆 4位 内田琴菜 ・ <u>女子 砲丸投 3位</u> 彌吉咲恵 ・ 女子 2年 800m7位 今村緋那 8位 古賀玲有 ・ 男子 800m5位 仲尚音 7位 西原健斗 ・ 男子 1年 1500m7位 江口鷲斗 8位 米倉源 ・ 男子 3000m7位 成瀬朔
吹奏楽部	9月29日（金）石橋文化ホール
男子ソフトテニス部	9月30日（土）新宝満川テニスコート ＜予選リーグ＞対 諏訪中・牟田山中→決勝トーナメント
男子バスケットボール部	9月30日（土）・10月7日（土）みづま総合体育館 ＜決勝トーナメント＞対 附属中
女子バスケットボール部	9月30日（土）・10月7日（土）みづま総合体育館 ＜決勝トーナメント＞対 牟田山中
剣道部	9月30日（土）久留米アリーナ武道場 （男女ともに個人戦出場）
サッカー一部	9月30日（土）補助競技場 ＜予選リーグ＞対 明星中・櫛原中→10月7日（土）
女子バレーボール部	9月30日（土）田主丸中学校 ＜予選リーグ＞対 良山中・江南中・屏水中→10月7日（土）
女子卓球部	9月30日（土）野中生涯学習センター ＜予選リーグ＞対 荒木中・三瀨中→決勝トーナメント
男子卓球部	9月30日（土）荘島体育館 ＜予選リーグ＞対 田主丸中・江南中・高牟礼中→決勝トーナメント
新体操部	9月30日（土）久留米信愛中学校グローリアホール
女子ソフトテニス部	10月7日（土）新宝満川テニスコート ＜予選リーグ＞対 青陵中・北野中→決勝トーナメント
野球部	10月7日（土）宝満川球場 ＜決勝トーナメント＞対 附属中と城南中勝者

教育実習生からのメッセージ

8月29日～9月19日の3週間、本校卒業生の2名が教育実習を行いました。生徒の皆さんへのメッセージを紹介します。

筑邦西中学校の皆さん、3週間ありがとうございました。私から皆さんへのメッセージとして、挑戦することの大切さを伝えたいと思います。

新しいことに挑戦するとき、不安がつきものです。しかし、乗り越えた先に達成感や喜びがあり、その過程に「学び」があります。それが経験や自信へと繋がって人生の豊かさに直結すると考えています。

少し、私の話をします。私は理系の大学を卒業後、「病理部門システム」という医療系のITソフトウェアを開発・販売する企業に5年ほど勤めていました。仕事は大変ながらも、毎日楽しく充実していました。しかし、医療業界は「新たに挑戦する」より「ミスをしたくない」が重要視されます。もちろん大切な事ですが、「挑戦」を大事にしていた私は、その点が味気なく感じました。そんな中、福岡から大阪への転勤が決まりました。これが社会科教員を目指すきっかけになりました。関西中の病院を飛び回るなか、奈良や京都を訪れる機会が増えました。その際、歴史的建造物や寺社などを見て、日本の長い歴史や古き良き伝統を肌で感じ、「歴史って面白い！」と思うようになりました。また、仕事上でも機材を調達する際に、半導体不足やコロナによる物流ストップの影響で、機器の価格高騰や在庫不足が続きました。このとき、「日本だけで世の中が回っているわけではない」と痛感し、世界の市場や経済について非常に興味を持つようになりました。

私は、学生時代は社会科が一番苦手で、テストで50点以上取ったこともありません。しかし、大人になって社会科の魅力に気付く、この魅力を皆さんにも伝えたいと思って教員を目指しました。中学生時代の自分は、まさか15年後に一番苦手だった社会科の教員を目指すことになるとは、夢にも思わなかったでしょう。また、これまで続けてきた仕事を辞めてまで、新たな分野に挑戦することは、すごく勇気のいる決断で、すごく迷いました。しかし、何事も挑戦です。「迷ったら、やる！」をモットーに、すぐに行動に移しました。

人生、何があるか本当に分かりません。すでに夢や目標をもっている人は、「実現するには何が必要か」「どうすればよいか」を逆算して考えてみると、より具体性が増します。

まだ夢や目標、やりたいことが見つからないという人は、ぜひ、色々なことにアンテナを張って、興味を持ったら追求してください。そして、臆することなく果敢に挑戦して、突き進んでください！

私の挑戦は始まったばかりです。教員になってからが、本当のスタートです。私はこれからも、自分の夢に向かって突き進んでいきます。皆さんも、どんどん挑戦してってください。ともに夢の実現のために頑張りましょう！



江崎将俊実習生（社会科）

3週間ありがとうございました。たくさんの生徒の皆さんに、支えられ、助けられる毎日でした。

「人生は選択の連続」という言葉を今まで何度も聞いてきました。私の短い22年間の中にも、この言葉の意味を痛感する場面が何度かありました。皆さんの中には実感がある人も、そうでない人もいます。

もし人生が沢山の分かれ道を選ぶことの積み重ねだとすれば、自分が選ばなかった、あるいは選べなかった道の方が輝いて見えたり、良い道に思えたりする事があります。そこで後悔や挫折を味わいます。きっとどんな道を選んでもです。

そんな日々において前を向く方法は、「自分でその道を選んだ」という強い自信を持つことと、「その道での出会い」を大切にすることだと私は考えます。（そもそも分かれ道を自分で選ぶためには、相応の知識や経験、能力を身につけることが大前提で、その前提こそが難しいのですが。）その中で夢を見つけ、自信を身につけていくのかもしれない。3年2組のみんなには言いましたが、私にはまだ諦めていない夢が12個あります。その夢のために、今小さな分かれ道を選び続けています。その過程は地道で、辛いかもしれませんが、それもまた「夢への挑戦」です。

残りの筑邦西中学校での経験、そして学生生活を通して、皆さんが自分なりの「分かれ道の選び方」を見つけられることを願っています。



江頭 雅彦実習生（英語科）